

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



エス・ディー・ジーズ



# SDGsで 持続可能な 未来へ

“私たちは地球を救う  
最後の世代になるかもしれない”

さまざまなお店で見掛けることが増えた「SDGs=持続可能な開発目標」。

「持続可能な開発目標」という言葉は、難しそうに感じますが、実は身近な暮らしの中でも、未来のためにできることはたくさんあります。

まずは、SDGsについて知ること、自分にできることは何なのかを考えることから始めてみませんか。

(経営計画課)

エス・ディー・ジーズ

# SDGs

Sustainable 持続可能な  
Development 開発  
Goals 目標

「誰一人取り残さない」ことを理念とし、環境を守りながら経済も成長し、全ての人が生き生きと暮らせる社会を実現するために、2016年から2030年まで世界共通で取り組む17の目標です。

国連持続可能な開発サミットで2015年に採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されています。

全ての国や企業だけでなく、あらゆる立場の人の参加を求めていることも大きな特徴です。

Q.「持続可能な開発」ってどういう意味ですか？

A. 資源や環境などを守りながら、今を生きる私たちだけでなく、将来世代も豊かに暮らし続けることができる開発のこと。実現するためには、経済・社会・環境のバランスが取れた世界へと変わっていく必要があります。

Q.あまり日本には関係なさそうな目標が多いように思えるけど…

A. 例えば目標1「貧困をなくそう」は、発展途上国だけでは解決が困難で、先進国での生産・消費スタイルの見直しなども必要です。また、目標8「働きがいも経済成長も」では生産性の向上や働き方など、日本でも議論になっている課題が含まれます。どの目標もみんなで実現していくものです。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も





# 一人ひとりが主役! あなたから始まる SDGsアクション

## 「暮らしの向こう側」を意識しよう

一つのアクション（行動）がいろいろな目標の達成につながっていくのもSDGsの特徴です。一見自分に関係なさそうな目標でも、貢献できることが必ずあります。

自分の暮らしがどのように成り立っているのか、考えてみるのがSDGsの出発点です。

### アクション例 その1

マイバッグやマイボトルを使って、レジ袋やペットボトルの使用を減らす



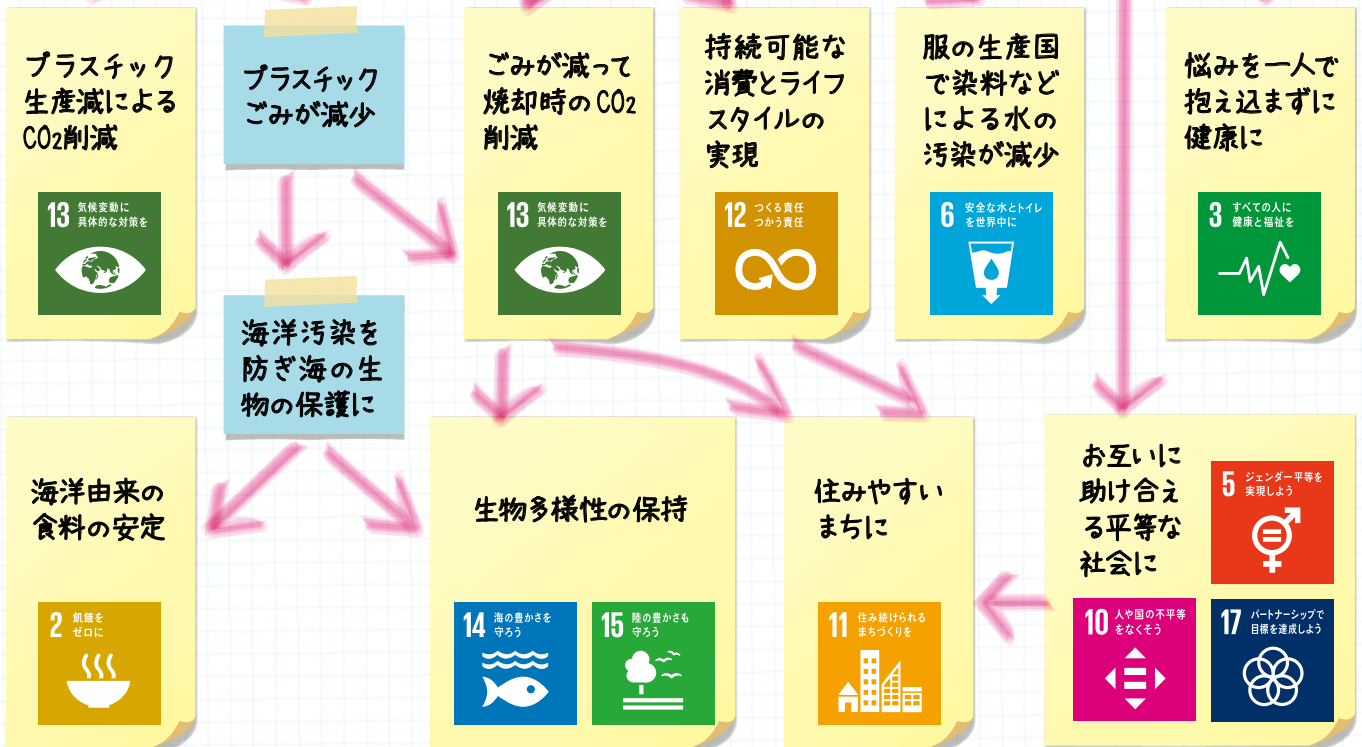
### アクション例 その2

1年限りの流行ではなく長く着られるお気に入りのファッションを見つける



### アクション例 その3

友達や家族が心配事、悩みを抱えているときは相談に乗り、みんなであげ合う



### 検索! SDGsをもっと知るためのキーワード

「SDGsで変える」「2030アジェンダ」「ナマケモノにもできる」「エシカル消費」「ESG投資」

国際連合広報センター (日本語)

国連 SDGs 🔍

#### Webサイト

外務省 JAPAN SDGs Action Platform

外務省 SDGs 🔍

関西SDGsプラットフォーム (イベント・ニュース)

関西 SDGs 🔍

### 子どもたち×SDGs

- JICA×毎日小学生新聞  
「共に作る 私たちの未来」
- ユニセフ  
「私たちがつくる持続可能な世界～SDGsをナビにして～」

とよなかESDネットワーク

「出前講座」で子どもたちの未来のための学びをサポート



学校などで、「ESD＝持続可能な開発のための教育」として体験型授業を実施。

「世界が100人の村だったら」という授業では、一人ひとりがカードに書かれたいるいるな国の人になりきり、言葉や暮らしの違い、人口密度、経済格差など、いま世界で起きているさまざまな状況を体感します。子どもたちが自ら体験し、気付きを得て話し合うことで、世界の問題を「自分ごと化」し、未来に向けて考え行動するきっかけづくりを行っています。

豊中市環境部

「ごみ減量フォーラム」では若者からSDGsを発信!



18回めとなる平成31年(2019)3月の同フォーラムでは食品ロス削減をテーマに、少年少女国連大使・佐竹真菜子さんと大阪成蹊女子高校の皆さんが活動を発表。参加者からは「高校生が意欲的に取り組む姿に持続可能な未来を感じた」との声も。市と協働でフードドライブに取り組む食品スーパーの活動も紹介されました。



SDGsと、ともに、とよなか

豊中青年会議所

「農業体験」を通じて地域とつながる



仕事をリタイアした男性の地域参加の場として、市社会福祉協議会が始めた「豊中あぐり」メンバーが協力し、野菜の種まきから収穫、販売や調理までを親子で体験するプログラムを実施。農業を通じて、野菜が成長する喜び、命や食の大切さを学ぶとともに、希薄になりがちな地域の交流を深め、声を掛け合えるようなまちづくりを目的に実施されました。



阪急電車で「SDGsトレイン」運行中

阪急電鉄宝塚線でも、5月27日から「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」が運行されています。車内広告スペースにはSDGsの解説や、SDGsに関連した取り組みのポスターなどが掲示されています。今後、市のSDGs啓発ポスターも車内に掲示される予定です。



持続可能な社会を作るためには、市民、企業、行政などさまざまな立場から、自分にできることを考え、立場を超えて協力しながら、行動を変えていくことが必要です。できることから早速始めてみましょう。